

消費生活相談
の現場から

<事例>

一度しか着用していない、ウエスト周りにさまざまなビーズが縫い付けられているワンピース。初めてクリーニングに出したところ、ビーズのつやがなくなり、ブルーの生地に錆のようなものが付着した。

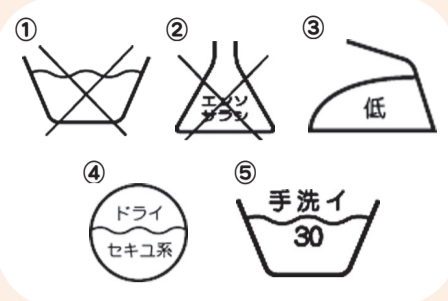
クリーニング店は衣類に付いている「家庭用洗濯等取扱い絵表示」(以下取扱い表示)に従ってドライ溶剤でクリーニングしたという。どこに責任があるのだろうか。直せない場合は弁償してほしい。

<アドバイス>

事故品はウエストに幅広くちりばめられたビーズの光沢がなくなり、溶け出たビーズの一部が生地に付着した状態でした。ビーズの材料は、ドライ溶剤に弱いポリスチレン樹脂と思われました。ワンピースの組成は裏地・表地ともにポリエステル100%で、取扱い表示は右図①～④のものでした。

この表示は、①家庭では水洗いができない②塩素系漂白剤による漂白はできない③アイロンは120度を限度とし、低い温度

ワンピースのビーズが溶けた？



(80～120度)で掛けるのがよい④ドライクリーニングができる・溶剤は石油系のものを使用する、という意味です。

しかし、ポリエステル生地なので手洗い表示(上図⑤)が付いていれば、ネットを使用して自宅でも洗え、クリーニング店でもウエット処理してくれたものと思われる。そうすれば、今回のようなトラブルは起きなかったでしょう。

洋服メーカーは取扱い表示に関して、「ドライにしておけば間違いない」との判断をしがちです。この件は相談員よりメーカーに連絡をして見解を伝え、消費者に返金されました。クリーニングのトラブルはさまざまです。判断がつかない場合は、下記へご相談ください。

問合せ 消費生活センター ☎ 495・6212 (相談専用)



清瀬の風俗や郷土文化、伝統などを写真やイラストとともに紹介します。

きよせ 地元学

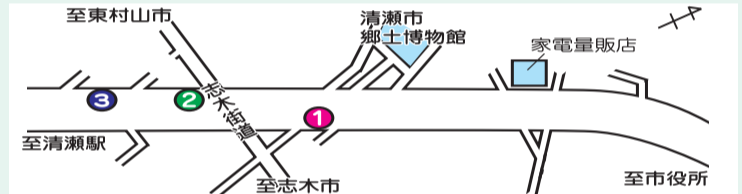
キヨセ ケヤキ ロードギャラリー作品紹介その10
キヨセ ケヤキ ロードギャラリーの作品紹介は、3月1日号をもちまして最終回となります。そこで、すべての作品を掲載するべく、今回・次回は3つの作品をまとめて紹介します。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585



- ①「標甲」 1992年制作 アルミ鋳物、ステンレス・スチール
作者 清水九兵衛(1922～2006)
作者はブロンズや真鍮などの金属彫刻の制作をはじめ、アルミニウムを素材とした柔軟で強靱な有機的形態の彫刻を追求した。
- ②「MOUNTAINOUS」 1989年制作 黒花崗岩
作者 新妻實(1930～1998)
作者はブルックリン美術館付属美術学校に学んだ後、コロンビア大学助教授を務めた。数多くの国際彫刻シンポジウムに参加した。
- ③「黒い石をつつむ幕舎」 1992年制作 黒花崗岩、ステンレス・スチール
作者 保田春彦(1930～)
作者は金属や石により、ヨーロッパの都市や遺跡のイメージに基づく、明快で巧緻な作品を発表している。

作品配置場所



地域の“チカラ”
の向上プロジェクト

市では、平成17年より清瀬第六小学校をモデル地区として、地域の方々が集まり、地域の課題を話し合い解決していく場として「コミュニティはぐくみ円卓会議」を展開しています。

現在では四中(芝山小及び四小合同)・三小・六小・七小で円卓会議を開催しており、今後の目標として、市内残りの校区(清瀬小、八小、十小、清明小)でも円卓会議を展開していきたいと考えています。

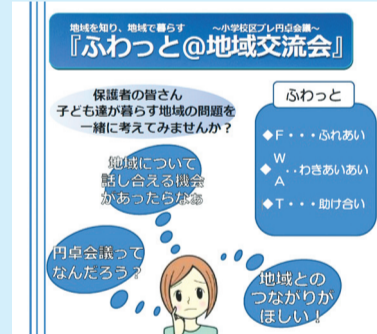
そこで、まだ円卓会議が開催されていない地域において、プレ円卓会議「ふわっと@地域交流会」を開催します。

円卓会議についての説明や地域の問題などを参加者同士でワークショップを通じて共有し、意見を交換します。開催時間も1時間程度の「ふわっと」した地域交流会にしたいと考えています。

開催予定日時は右表のとおりです。地域のことに関心をお持ちの各校区の方は、ぜひご参加ください。

また、現在開催されている各

プレ円卓会議「ふわっと@地域交流会」を開催します！



校区	日時	場所
第八小学校区	2月23日(月) 午後3時～4時	八小 図書室
第十小学校区	2月26日(木) 午後3時～4時	十小 けやきルーム
清明小学校区	2月18日(水) 午後5時～6時	清明小 図書室

校区の円卓会議は下記のとおりです。

地域の問題などについて話したい方、各地域にお住まいの方なら、どなたでも参加することができます。

問合せ 企画課市民協働係 ☎ 497・1803

円卓会議の開催日程

- 四中＝3月16日(月)午後2時～、四中図書室
- 三小＝2月18日(水)午後6時～、三小被服室
- 六小＝決定次第、市ホームページでお知らせします。
- 七小＝2月14日(土)午前10時～、七小大会議室

健康 ナビ

節分と歯のはなし

節分の豆まきには、「邪気を払って無病息災を願い、歳の数だけ炒り豆を食べ、厄よけを行う」という意味があるそうです。炒り豆を食べるには丈夫な歯が必要です。歯と噛む機能の向上を、豆の数で見ましょう。

◆1歳…豆1粒

1歳になると上下の前歯が生えそろう。炒り豆は食べられません、柔らかく煮た豆1粒なら食べられるでしょう。

◆2歳…豆2粒

2歳は上下16本、第1乳臼歯が出てくるので、柔らかめの炒り豆なら食べられます。

◆3歳～小学生…豆3～12粒

3歳で20本の乳歯が生えそろう、豆をすりつぶすことができます。小学生に上がるころには、永久歯への生え変わりが始まり、6歳臼歯が生えるので、咀嚼能力も上がります。

◆中学生以上…豆十数粒～

中学生になると、12歳臼歯が生え、28本の永久歯がそろい、噛む力も格段に上がります。一噛む力もだんだん強くなる咀嚼筋も他の筋肉同様、使うほど強くなります。よく噛んで

食べる習慣があれば成長とともに強くなっていきます。生涯にわたり、歯を失わずによく噛んでいれば、何歳になっても炒り豆を食べ続けられるはず。一何でも食べられる80歳に

「8020(ハチマルニイマル)」

を知っていますか。「80歳で20本以上の歯を保とう」という歯科保健目標です。20本以上の歯があれば、大抵の物は食べられます。厚生労働省の調査によると、80歳の3人に1人は20本以上の歯があります。

一毎食後の歯磨きは常識に

皆さんは、1日に何回歯を磨きますか。上記調査では、2回以上磨く人は73.5%、3回以上磨く人は約25%となり、食後の歯磨きは常識になりつつあります。

一デンタルフロス・歯間ブラシを使おう

歯と歯の間は歯垢の巣窟。いつまでも良い歯でいられるように、歯科医院で使い方を習いましょう。

さあ、いい歯で「鬼は外！」

問合せ 健康推進課保健サービス係 ☎ 497・2077